

○ 主な遺跡

令和2年11月時点

時代	遺跡名	市町村	年代	評価
旧石器	立切	中種子町	約3万5千年前	・世界最古の落とし穴が見つかった遺跡
旧石器	横峯	南種子町	約3万1千年前	・国内最古の生活跡で磨石も出土
旧石器	天城	伊仙町	約3万年前	・奄美郡島最古の遺跡
旧石器	上場	出水市	約3万年前～1万5千年前	・本県で初めて学術調査がされた遺跡, ナイフ型石器文化から細石器文化への移行を確認
旧石器	前山	鹿児島市	約2万5千年前	・シラス下位から石器が出土した遺跡
旧石器	帖地	鹿児島市	約2万5千年前	・シラス下位から縄文早期まで層的に出土
旧石器	仁田尾	鹿児島市	約2万4千年前	・旧石器では西日本最大規模の多量の石器出土
旧石器	水迫	指宿市	約1万5千年前	・細石器文化の生活遺構が発見された遺跡
旧石器	加栗山	鹿児島市	約1万3千年前	・本県再大規模の細石器文化の遺跡・石器が多量に出土
旧石器	銭亀	南種子町	約1万3千年前	・国内細石器文化圏南限の遺跡
縄文	三角山	中種子町	縄文草創期約1万3千年前	・草創期の代表的遺跡, 竪穴住居と豊富な遺物量から当時の生活の様相がうかがえる
縄文	鬼ヶ野	西之表市	縄文草創期約1万2千年前	・草創期の代表的遺跡, 石鏃等の石器類が多量に出土
縄文	掃除山	鹿児島市	縄文草創期約1万2千年前	・草創期の代表的遺跡・竪穴住居跡・配石炉等が発見された遺跡
縄文	梶ノ原	南さつま市	縄文草創期約1万2千年前	・草創期の代表的遺跡・縄文時代人の生活の定住化を示唆する遺跡
縄文	志風頭	南さつま市	縄文草創期約1万2千年前	・草創期の完形土器が出土・磨製石鏃製作地
縄文	上野原(Ⅳ)	霧島市	縄文早期前葉約9千5百年前	・縄文早期前葉の国内で最古・最大級の定住化した集落遺跡
縄文	永迫平	日置市	縄文早期前葉約9千5百年前	・上野原遺跡と同時代の集落跡, 道跡が発見された遺跡
縄文	加栗山	鹿児島市	縄文早期前葉約9千5百年前	・上野原遺跡と同時代の大規模集落遺跡, 旧石器～縄文時代の移行期の様子がわかる遺跡
縄文	上野原(Ⅲ)	霧島市	縄文早期後葉約7千5百年前	・国内最古の壺形土器等, 南九州の先進性を示す遺跡
縄文	面縄貝塚	伊仙町	縄文時代早期～古代	・琉球列島先史時代の遺跡の構造・変遷を通史的に理解できる代表的遺跡
縄文	出水貝塚	出水市	縄文後期末～後期前半の貝塚	・縄文中期末～後期前半の貝塚・学史的著名遺跡

時代	遺跡名	市町村	年代	評価
縄文	柘原貝塚	垂水市	縄文後期約3千8百年前	・縄文後期後半の本県最大規模の貝塚、軽石製品が特徴的、学史的にも著名
縄文	市来貝塚	いちき串木野市	縄文後期約3千5百年前	・海洋的な性格が濃い縄文時代後期の貝塚で、遺物も多量出土
縄文	橋牟礼川	指宿市	縄文後期～平安	・縄文と弥生の新旧が全国で初めて層的に判明した遺跡、古代の火山災害遺跡としても著名
縄文	上加世田	南さつま市	縄文後期～晩期	・ヒスイ製の装身具等が多量に出土する縄文後晩期の代表的遺跡
縄文	宇宿貝塚	奄美市	縄文前期～15世紀	・南西諸島における代表的な貝塚・人骨等も出土
縄文	住吉貝塚	知名町	縄文後期～弥生初頭	・縄文晩期を中心とした集落遺跡、南島社会の当時の生態系や独特な生活様式の復元が可能
弥生	王子	鹿屋市	弥生中期約2千年前	・南九州を代表する弥生時代の集落遺跡・遺物も多量に出土
弥生	弥生式住居跡（一の宮）	鹿児島市	弥生中期	・本県で初めて発見された弥生時代の住居跡・学史的にも著名
弥生	山ノ口	錦江町	弥生中期	・配石遺構や軽石製品などが特徴的な祭祀遺跡、弥生時代中期土器様式の標式遺跡
弥生	広田	南種子町	弥生後期後半3世紀～7世紀	・南島の生活風習や埋葬習俗のあり方を知れる大規模な墓地遺跡、多種多様な貝製品が多量に出土
古墳	塚崎古墳群	肝付町	4世紀～5世紀前半	・日本最南端の前方後円墳を含む、高塚墳と南九州独自の墓制である地下式横穴墓が共存する古墳群
古墳	唐仁古墳群	東串良町	5世紀～7世紀	・県内最大の古墳群、県内1位・九州3位の規模の1号墳（唐仁大塚古墳）を含む
古墳	横瀬古墳	大崎町	5世紀末	・県内第2位の規模の前方後円墳、墳丘の形や周濠が良好に残る
古墳	岡崎古墳群	鹿屋市	5世紀	・前方後円墳や円墳と南九州独自の墓制である地下式横穴墓が共存する古墳群
古墳	天辰寺前古墳	薩摩川内市	5世紀	・円墳、貝製腕輪を装着した人骨片や銅鏡が出土
古墳	堂前古墳群	出水市	約4世紀～約7世紀	・南九州独自の墓制（地下式板石積石室）
古墳	別府原古墳群	さつま町	5世紀～6世紀	・南九州独自の墓制（地下式板石積石室）
古墳	永山古墳群	湧水町	約4世紀～約7世紀	・南九州独自の墓制（地下式板石積石室）
古墳	平田遺跡	伊佐市	約4世紀～約7世紀	・南九州独自の墓制（地下式板石積石室）
古墳	長島の古墳群	長島町	6世紀	・積石塚や円墳等の群集墳が多数分布、指江古墳群・明神古墳群などがある
古墳	小湊刀が初	奄美市	3世紀～12世紀	・貝製品の生産遺跡、ヤコウガイの貝殻が多量に出土、貝匙等を制作した

時代	遺跡名	市町村	年代	評価
歴史	宮田ヶ岡瓦窯	姶良市	8世紀後半～9世紀前半	・大隅国分寺の瓦窯跡
歴史	薩摩国分寺跡	薩摩川内市	8世紀～	・聖武天皇の詔によって各地に建立された国分寺のひとつ、川原寺式伽藍配置をもつ
歴史	大隅国分寺跡	霧島市	9世紀～	・聖武天皇の詔によって各地に建立された国分寺のひとつ
歴史	城久	喜界町	9世紀～15世紀	・南島と本土を結ぶ交易拠点、古代末～中世の南島社会の様相がわかる遺跡
歴史	徳之島加伊特陶器窯跡	伊仙町	11世紀～14世紀	・南島の中世窯業の一大生産地、琉球列島全域と南九州に流通
歴史	高山城跡	肝付町	14世紀～16世紀	・大隅国肝付氏の居城跡
歴史	知覧城跡	南九州市	14世紀～16世紀	・島津氏(佐多氏)の居城跡
歴史	清色城跡	薩摩川内市	12世紀～16世紀	・入来院氏の居城跡
歴史	志布志城跡	志布志市	14世紀～16世紀	・肝付氏・島津氏・伊東氏等の拠点
歴史	倉木崎海底遺跡	宇検村	12世紀～13世紀	・県内初の水中遺跡調査、中国産の貿易陶磁器が多量に海底に沈んだ状態で出土
江戸	鹿児島(鶴丸)城跡	鹿児島市	16世紀～19世紀	・島津氏の居城、西南戦争時の弾痕等の痕跡も残る
江戸	島津家墓所	鹿児島市ほか4市町	14世紀～18世紀	・島津本家、一門家および一所持家の墓所
江戸	薩英戦争関連台場跡	鹿児島市、南大隅町ほか	19世紀	・薩英戦争前に築かれた台場跡、祇園之州砲台、天保山砲台、根占原台場跡等がある
江戸	旧集成館	鹿児島市	19世紀	・島津斉彬や久光などが推進した近代化事業の工場群跡、機械工場や反射炉跡、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝等がある
近代	金山水車(轟精錬所)跡	南九州市	1912(明治45)年～1935(昭和10)年	・近代の代表的な産業遺産、全国的にも珍しい民間の精錬所跡、水車坑や導水路等が良好な状態で保存
近現代	知覧飛行場跡	南九州市	1940(昭和15)年～1945(昭和20)年	・第二次世界大戦時に特攻機が飛び立った陸軍飛行場として全国的に著名